

科目名	スポーツ自由研究A						年度	2026	
英語科目名	Selective study for sports A						学期	前期	
学科・学年	スポーツ健康学科三年制 テニスコース 1年次	必/選	選※	時間数	30	単位数	1	種別※	実習
担当教員	柳田	教員の実務経験		有	実務経験の職種		日本スポーツ協会公認テニスコーチ4・日本スポーツ協会公認ソフトテニスコーチ1		

**【科目の目的】**  
 体育祭およびスポーツ・医療カレッジのイベントにおいて、スタッフ等のボランティア活動を行い、主体的にイベント運営に携わることを目的とする。

**【科目の概要】**  
 体育祭の実行委員経験をはじめ、スポーツに関することをさまざまな角度から捉え、実態や動向を明確にし、その意義・本質などを見極め理解を深めます。

**【到達目標】**  
 学生が1つの事柄の成功に向かって、準備～撤収までを協力して行うことを目標にしています。  
 ①体育祭などを通じて、スポーツ・医療カレッジが担う業務・運営を行い、成功に導くことを目標とします。  
 ②スポーツ活動・スポーツイベントにおけるボランティア活動（スタッフ実務など）を行い、スポーツの理解を深めることを目標とします。  
 A. イベントの成功に向け、スケジュールを逆算し、計画的な行動をすることができる  
 B. イベントの成功に向け、自身の成長に向き合い、主体的に役割を果たすことができる

**【授業の注意点】**  
 授業時数の4分の3以上出席しない者は出席不良となり履修不可となります。体育祭は、スポーツカレッジだけではなく、日本工学院八王子専門学校全体の行事です。科目履修としてだけではなく、学内活動の参加として積極的に行動してください。各セクションに別れスポーツ活動やスポーツイベント企画運営を行います。

評価基準＝ルーブリック					
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力
到達目標 A	イベントの成功に向け、スケジュールを逆算し、計画的な行動をすることができる		イベントの成功に向け、スケジュールを逆算した行動をすることができる		イベントの成功に向け、行動をすることができる
到達目標 B	イベントの成功に向け、自身の成長に向き合い、主体的に役割を果たすことができる		イベントの成功に向け、少しでも主体的に役割を果たすことができる		イベントの成功に向け、指示を受ければ、役割を果たすことができる
到達目標 C					
到達目標 D					
到達目標 E					

**【教科書】**  
 配布プリント

**【参考資料】**

**【成績の評価方法・評価基準】**  
 試験と課題を総合的に評価します。積極的な授業参加度、授業態度によって評価します。

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		スポーツ自由研究A			年度	2026
英語表記		Selective study for sports A			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標=修得するスキル	評価方法	自己評価
1	オリエンテーション	オリエンテーション	1 イベント内容の確認 2 スケジュールの確認	イベントの概要を知り、イベント実施内容とスケジュールを確認します	3	
5	イベントの企画	イベントの企画立案作業	1 企画案の募集	企画の案出し作業をグループワークで行います	3	
3			1 企画案のプレゼン準備	企画案のプレゼン準備をグループワークで行います	3	
4			1 企画案のプレゼン	グループで企画案のプレゼンを行い、コンペ方式で提案します	3	
5			1 企画案の選定と準備計画	採用された企画案の準備計画をグループワークで決定します	3	
6	イベントの準備活動	イベントの準備活動	1 イベントの準備活動	準備計画に基づいてイベントの準備活動を実施します	3	
7					3	
8					3	
9					3	
10					3	
11					3	
12					3	
13	イベントの実施	イベントの実施	1 イベントの実施	イベント当日、企画案および準備計画に基づきイベントを実施します	3	
14			1		3	
15	まとめ	イベントのまとめと振り返り	1 イベントのまとめと振り返り	イベントのまとめと振り返りをグループで行い、反省点を見出し、次のイベントに向けた改善点を洗い出すことができる	3	

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等